これって、人見知り？

日々成長する赤ちゃんですが、大人から見ると不思議だなと思うこともありますね。
今までは大丈夫だったのに、家族以外の人が近づくとしがみついたり、泣くようになったり・・・

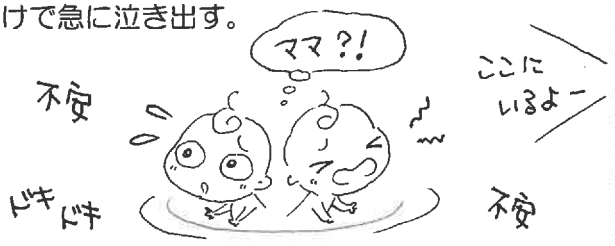
例えば、その１

ママ以外の人の顔をじーっとみつめ、その人が話しかけたり、抱っこしようとして手を出したりしたとたん、泣き出す。

パパやおじいちゃん、
おばあちゃんでも
泣いてしまうことも

例えば、その２

ママの姿が、ほんのちょっと見えなくなっただけで急に泣き出す。



もしかしたら、「人見知り」の
時期なのかもしれません

どうして「人見知り」するのかな？

いつもそばにいてくれる人の声や抱っこされた時の感覚などから、その人を「安心できる存在」として認識している赤ちゃんですが、成長とともにそのほかの人の存在も認識できるようになります。そんな時期に始まるのが「人見知り」。記憶や判別ができるようになりつつあるためです。パパが嫌いになったのでもママっ子になったのでもありません。いつもお世話をしてくれるママを中心に、少しずつ人間関係が広がり始める時期なのです。

本当は見たいのに、知りたいのに、目が合うと反射的に恐怖心が高まり、泣いてしまうこともあります。そんな時は「泣いてもいいんだよ」という気持ちで接し、「ママと仲良しの人だよ、安心してね」ということを繰り返し見せてあげると、いつか、ニコニコ抱っこしてもらえるようになるのでは……。

赤ちゃんの気持ちを受け止め、「だいじょうぶ」と伝える工夫をしながら、その時を待っていてあげましょう。赤ちゃんが「大好きな人」「安心できる人」を増やし、自分の世界を広げていけるとよいですね。

こんなこともあります

「場所見知り」

慣れない場所・物・人に戸惑っているのかもしれません。そんな時は、急かさず、子どもの気持ちに寄り添って、慣れるまで「観察の時間」に付き合ってあげましょう。

周りの大人がゆったりとした気持ちで過ごしていると、「安心」が伝わります。

こんな遊びはいかが？

いろいろな顔で **いない いない ばあ♪**

手や布で顔を隠し、「ばあ♪」の時にいろいろな顔で登場。赤ちゃんも笑顔になってくれると思いますよ♡

「つどいの広場」「こそだてひろば」で、ゆったりと遊びながら過ごしませんか♪

お待ちしています♡